大津市歴史博物館　活動報告
令和２年度

大津市歴史博物館

令和２年度　大津市歴史博物館事業報告

当館では、運営の指針として「大津市歴史博物館の基本的運営方針」を定めています。本書は、そこに示された運営方針や活動目標の成果をご確認いただくものとして、令和２年度の事業報告について、まとめたものです。博物館の活動状況を皆様方に広く知っていただければ幸いです。

令和３年４月　大津市歴史博物館

◇大津市歴史博物館の基本的運営方針

〔基本的運営方針１〕地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る

・活動目標(１)　資料の調査収集・研究活動の推進
・活動目標(２)　調査情報のデータ化と収蔵資料の充実
・活動目標(３)　地域資料の保存、活用に向けた情報の共有化と学習支援の推進

【1-1-1】資料調査の実施状況　…　2
【1-1-2】博物館資料の収蔵状況（収集資料件数・新収蔵資料）　…　3

〔基本的運営方針２〕あらゆる世代・地域に対し、歴史情報の共有化に向けた情報発信を行う

・活動目標(１)　常設展示の充実
・活動目標(２)　企画展示の充実
・活動目標(３)　子ども・若者に対する学習支援の推進
・活動目標(４)　幅広い世代に向けた積極的な情報発信

【1-2-1】常設展示観覧者数　…　7
【1-2-2】特集展示「明智光秀と戦国時代の大津」　…　8
【1-2-3】企画展「江戸時代の琵琶湖水運」の結果　…　9
【1-2-4】企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」の結果　…　11
【1-2-5】普及事業（れきはく講座等）の実施状況　…　14
【1-2-6】夏休み子ども向けイベントの結果　…　16
【1-2-7】市内小中学校等による博物館利用状況　…　18
【1-2-8】広報・情報発信の状況　…　19
【1-2-9】「遊ぼう！大津れきはく」ページの開設　…　20

〔基本的運営方針３〕大津市の歴史と文化の普及に携わるさまざまな組織の活動と連携し、支援体制を築き、歴史情報のセンターとしての役割を担う

・活動目標(１)　大津市各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携
・活動目標(２)　歴史と文化情報のセンターとしての役割を担う

【1-3-1】講師・調査派遣等の状況　…　22
【1-3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況　…　23
【1-3-3】貸しギャラリーの利用状況　…　24

〔参考〕大津市歴史博物館の概要について

〔参考〕大津市歴史博物館の基本的運営方針と活動目標について

【1-1-1】資料調査の実施状況（令和２年度）

本館では、継続的な資料調査の他に、他機関・専門家等との合同による資料調査を行っている（継続も含む）。

（１）科学研究費補助事業、大学・研究機関への協力・共同調査

・基盤研究Ａ「3 次元データに基づく人工知能による仏顔の様式研究」（課題番号 18H03571　代表者　藤岡穣〔大阪大学〕平成 30 年～令和 4 年度）
上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する聖衆来迎寺などの寺院に伝来する仏像の調査研究を実施。

・基盤研究Ｂ「真義真言宗系聖教の形成と教学的交流に関する基礎的研究」（課題番号 17H02342　代表者　宇都宮啓吾〔大阪大谷大学〕平成 29 年～令和 3 年度）
上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する聖衆来迎寺や法明院、西教寺に伝来する聖教の調査研究を実施。

・若手研究「船道郷士文書を基軸とした近江国堅田地域史料の再構築と通時代的研究」（課題番号 20K13188：代表者　高橋大樹〔佛教大学〕令和 2 年～令和 4 年）
館蔵居初家文書をはじめ、堅田に関わる文書・記録の悉皆調査を実施。

・大学共同利用機関法人　人間文化研究機構　総合地球環境学研究所プロジェクト「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災（Eco-DRR）の評価と社会実装」（代表者：吉田丈人）
洪水・土砂災害・高潮などの自然災害への生態系がもつ多様な機能を活用する防災減災の手法（Eco-DRR）による調査・研究。比良山麓地域（八屋戸・南小松）の地域史料と調査・整理の実施。

・東京大学史料編纂所一般共同研究「聖衆来迎寺史料の調査･研究」（令和 2 年度）
聖衆来迎寺伝来の文書・聖教類の総合調査を実施（コロナ対策により令和３年度も延長実施）。

（２）その他の調査

・歴史博物館れきはく講座受講者で、古文書読解を目的とする有志で結成された研究会と、館蔵文書・関係文書の整理・解読を進めている。（平成 25 年～）

・龍谷大学・佛教大学・花園大学などの研究者と協力し、法明院の聖教調査を進めている。

【1-1-2】博物館資料の収蔵状況

◇収集資料件数

	購　入 ０１	受　贈 ０２	受　託 ０３	合　計
絵　画 ０１	１４９件 （＋１件）	７０件	２３７件	４５６件 （＋１件）
彫　刻 ０２	１件	１件	３０件	３２件
工　芸 ０３	４０件 （＋５件）	３７件	４５件	１２２件 （＋５件）
書　跡 ０４	２８件 （＋１件）	２１件	４１件	９０件 （＋１件）
古文書 ０５	２１件 （＋２件）	２７件	６６件	１１４件 （＋２件）
考　古 ０６	０件	５件	１２件	１７件
歴　史 ０７	３４件	２１０件 （＋３件）	８９件	３３３件 （＋３件）
民　俗 ０８	０件	２２件	９件	３１件
合　計	２７３件 （＋９件）	３９３件 （＋３件）	５２９件	１，１９５件 （＋１２件）

（令和３年３月１６日現在）

◇新収蔵資料（令和２年度第１回収集資料）

令和２年１１月１９日答申（第１回）
令和３年　３月１１日答申（第２回）

購入資料

	種別	名称	員数
１（第１回）	絵画	大津絵蔵書票　山内神斧画	１冊
２（第１回）	工芸	鬼念仏藤娘・槍持奴文蒔絵印籠　長谷川巨鱗斎重美銘	１合
３（第１回）	工芸	圓山湖東染付近江八景見立酒肴什器	１組
４（第２回）	工芸	復興膳所鉄絵菊文茶碗 銘幽趣　山元春挙絵付	１客
５（第２回）	工芸	復興膳所鉄絵春蘭雲根文茶碗 銘不老萬年　山元春挙絵付	１客
６（第２回）	工芸	復興膳所鉄絵真鯉文茶碗　山元春挙絵付	１客
７（第１回）	書跡	一行書「鶴舞千年樹」　本多康完筆	１幅
８（第１回）	古文書	近江国堅田船道郷士竹内家文書	１巻
９（第２回）	古文書	木屋仙右衛門家文書（水戸藩為替方関係）	一括

受贈資料

種別	名称	員数
1（第1回） 歴史資料	石川町絵図	1鋪
2（第1回） 歴史資料	中野家資料（文書・写真・古銭・紙幣）	一括
3（第1回） 歴史資料	大津陸軍少年飛行兵学校卒業証書	1枚

＜購　入＞

購入1　絵画　　大津絵蔵書票　山内神斧画　　1冊　　昭和時代（戦後）

大阪の美術店「吾八」が発行した、大津絵をテーマにした木版蔵書票集。日本画家山内神斧（1886～1966）が、会員向けの木版摺限定版会報「これくしょん」誌上で、会員向けに蔵書票として募集・企画したもので、応募に対して自ら作画し版行した計12枚が冊子に貼り付けられている。

購入2　工芸　　鬼念仏藤娘・槍持奴文蒔絵印籠　長谷川巨鱗斎重美銘　1合　江戸時代

常形六段の印籠。表は、絵変わり大津絵の画題「鬼念仏藤娘図」を図案として蒔絵し、裏も同様に、絵変り大津絵の趣向で、夕立に襲われて慌てる「槍持奴」の画題を蒔絵している。総金梨地の地に、随所に螺鈿の象嵌を施し、鬼や人物には高蒔絵で立体感を表現した、豪華な蒔絵細工印籠として制作されている。底面左下に金描銘「長谷川巨鱗斎」、朱漆壷印「重美」の銘がある。

購入3　工芸　　圓山湖東染付近江八景見立酒肴什器　　1組　　明治時代

近江八景に見立てた圓山湖東の懐石用什器皆具。圓山湖東は明治2年、版籍奉還後、彦根知藩事に任命せられた井伊直憲が再興した湖東焼。直弼時代の湖東焼と比べて窯は小さいが，材料の用法，焼成法ともに伝承し、一般的には「後窯（あとがま）の湖東焼」「圓山湖東」と呼ばれる。

購入4　工芸　　復興膳所鉄絵菊文茶碗 銘幽趣　山元春挙絵付　1客　　明治時代
購入5　工芸　　復興膳所鉄絵春蘭雲根文茶碗 銘不老萬年　山元春挙絵付　1客　明治時代
購入6　工芸　　復興膳所鉄絵真鯉文茶碗　山元春挙絵付　　1客　明治時代

大正8年（1919）に岩崎健三によって窯が築かれ、江戸期と同じ山から陶土を採取し、膳所焼が復興された。友人の山元春挙の勧めによるもので、作陶は京焼の二代伊東陶山が指導にあたり、遠州好みの膳所の作行きを蘇らせた。また、今焼きの茶陶も焼成しており、これらのように春挙が絵付けした茶陶が少なからず存在する。

購入7　書跡　　一行書「鶴舞千年樹」　本多康完筆　　1幅　　江戸時代

膳所藩の第 11 代藩主本多康完（やすさだ）により、「鶴舞千年樹」と大書された一行書。康完は、寛政 2 年（1790 年）12 月より御所造営を担当し、後桜町天皇や幕府から賞賛された。文化 3 年（1806 年）10 月 8 日、38 歳で死去し、後を弟の康禎が継いだため、遺墨は少ない。

購入8　古文書　船道郷士竹内家文書　1巻（7通）　　江戸時代

江戸時代、琵琶湖水運の一翼を担った堅田の船道郷士（四家）のうち、本堅田村居住の竹内茂左衛門家に伝来した 7 通の古文書。堅田藩初代藩主堀田正高の書状が数点含まれている。堀田正高の息子で、2代・3代藩主となる正峯（兄）・正永（弟）は堅田の郷士居初家と竹内家にそれぞれ預けられて養育されており、郷士家と藩主の関係史を探る上でも貴重な史料群。

購入９　古文書　木屋仙右衛門家文書（水戸藩為替方関係）　一括　江戸時代～明治時代

江戸時代、大津町の湊町の商人木屋池田家に伝来した文書群。同家は「木屋」を屋号とし、米・油を取扱うとともに、「水戸様御国産御為替方」商人として活動していた。本文書はほぼ水戸藩御用に関わる文書で構成される。同家の商業活動をたどるだけでなく、水戸徳川家と大津町の関係を知るうえで貴重な資料群。

＜受　贈＞

受贈１　歴史資料　石川町絵図　　１舗　　江戸時代

元禄８年（1695）、大津代官（小野宗清）の命により作成・提出した大津町のうち石川町（現：長等二丁目周辺）の絵図。提出した控えをさらに写した絵図とも考えられる。江戸時代の大津町を知る貴重な資料といえる。

受贈２　歴史資料　中野家資料（文書・写真・古銭・紙幣）　一括　　江戸時代～昭和時代

中野家（京町通・米屋、現在登録文化財の料理屋・魚忠）が他所へ転居される際、蔵に残っていたもので、当時の同家表の写真や明治 43 年の婚姻結納記録、および古銭（1313 枚）・紙幣（4 枚）で構成され、建築補足資料や米屋関連の資料として注目される。

受贈３　歴史資料　　大津陸軍少年飛行兵学校卒業証書　１枚　　昭和時代（戦前）

昭和 18 年、法律改正によって陸軍航空学校大津教育隊から独立して、大津陸軍少年飛行兵学校が開校した。本資料は、昭和 20 年第 18 期生の卒業証書。同校では、１年間の教育機関ののち、本来であれば操縦（宇都宮・熊谷）・通信（水戸）・整備（所沢）の各上級学校に進むことになっていたが、18 期生は基礎教育を受けた後も大津にとどまって訓練を続け、終戦を迎えた。

〈購　入〉

購入１　大津絵蔵書票
山内神斧画

購入２　工芸資料
鬼念仏藤娘・
槍持奴文蒔絵印籠

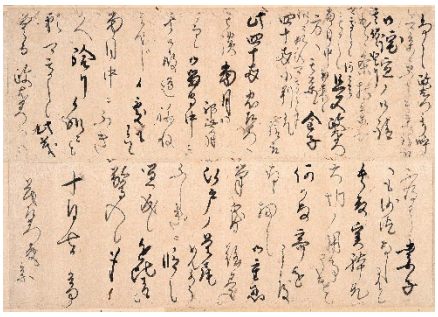
購入３　工芸資料
圓山湖東染付
近江八景見立酒肴什器

購入４　工芸資料
復興膳所鉄絵菊文茶碗
銘幽趣　山元春挙絵付

購入５　工芸資料
復興膳所鉄絵春蘭雲根文茶碗
銘不老萬年　山元春挙絵付

購入６　工芸資料
復興膳所鉄絵真鯉文茶碗
山元春挙絵付

購入７　一行書
鶴舞千年樹　本多康完筆



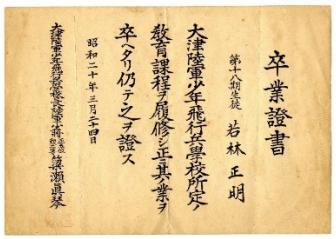
購入８　船道郷士竹内家文書

購入９　木屋仙右衛門家文書
（水戸藩為替方関係）

〈受　贈〉

受贈１　石川町絵図

受贈２　中野家資料
（文書・写真・古銭・紙幣）



受贈３　大津陸軍少年飛行兵学校
卒業証書

【1-2-1】　常設展示観覧者数（令和2年4月～令和3年3月）

（単位：人）

	個人				団体				市内障がい者等	歴博カード会員	減免・招待	計	前年同月
	一般	市内65歳以上	高大	小中	一般	市内65歳以上	高大	小中					
4月	118	16	13	4	54	38	4	2	15	52	163	479	2,722
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	955
6月	565	126	24	36	226	48	1	0	34	69	42	1,171	701
7月	415	43	12	23	259	20	3	3	16	54	52	900	871
8月	519	58	22	81	428	29	48	51	21	56	109	1,422	1,311
9月	521	38	17	22	347	18	9	11	31	68	39	1,121	951
10月	2,323	24	127	64	1,453	633	63	5	112	276	943	6,023	2,988
11月	1,144	20	59	63	1,013	174	23	121	44	204	1,282	4,147	5,245
12月	413	29	31	55	195	10	40	0	11	21	58	863	588
1月	312	51	20	65	155	25	1	26	42	32	40	769	930
2月	488	76	19	93	248	25	1	2	38	88	42	1,120	1,068
3月	1,007	400	46	40	393	123	9	11	77	307	239	2,652	1,331
計	7,825	881	390	546	4,771	1,143	202	232	441	1,227	3,009	20,667	19,661

対前年比　1,006

※令和2年4月18日～5月30日は新型コロナウイルス感染防止措置として臨時休館

【参考】　常設展示観覧料
個人　一般330円　高校生・大学生240円　小学生・中学生160円
団体　一般260円　高校生・大学生190円　小学生・中学生130円
※団体は15人以上。
※大津市内在住の65歳以上の人は、小中学生料金と同額。
※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者・要支援者及びその介護者1名は無料。
※歴博カード会員（一般2,000円　高大1,500円　小中1,000円）は記名本人のみ、登録から1年間有効で、
　常設展示ほか本館主催の企画展を何度でも観覧可能。
※ミニ企画展は、常設展示観覧料で観覧可能。

【1-2-2】特集展示「明智光秀と戦国時代の大津」結果

1、会　期　令和 2 年 1 月 7 日（火）～令和 3 年 2 月 21 日（日）
2、会　場　大津市歴史博物館　常設展示室 1 階
3、観覧料　常設展示観覧料 一般 330 円(260 円）高大生 240 円(190 円）小中学生 160 円（130 円）
4、展示作品　約 150 件
5、観覧者数　21,148 人（期間中の常設展示観覧者）
6、概要

- 大河ドラマ「麒麟がくる」で大津ゆかりの戦国武将明智光秀が主人公となることから、大津における明智光秀の事績を中心に、戦国時代の大津を紹介する特集展示を開催した。
- 常設展示室の堅田、坂本コーナーを改修し、パネルや実物資料により紹介した。
- 展示では、盛安寺蔵「伝明智光秀陣太鼓」をはじめ、焼き討ち直前に光秀が雄琴の土豪に宛てた書状、坂本城跡出土遺物などで構成した。
- 常設展示の 1 階吹抜け部分のシアターを改修し、展覧会にあわせて「大津の明智光秀」(6 分）を制作し、常時上映した。
- 展示作品の流動性を図るため、期間中に関連ミニ企画展を開催した。
  明智光秀と在地土豪(第 161 回ミニ企画展）　7 月 7 日(火)～10 月 11 日(日)
  明智光秀と坂本城(第 162 回ミニ企画展）　10 月 13 日(火)～1 月 11 日(月・祝)
- 大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会が主催する「光秀大博覧会」の展示拠点の一つとし、観光との連携につとめた。

9、解説パンフレット
「明智光秀と戦国時代の大津」(A4、24 頁オールカラー　価格 200 円）　1,170 冊頒布（2 月末）
10、展覧会の成果と問題点

- 光秀が注目をあびる絶好の機会として、大津市をあげて観光に力を入れたが、コロナ禍により、団体客の動きがほとんどなく、全体として人の動きは厳しい結果となった。
- 光秀が注目されたことで、新たな資料の発見（聖衆来迎寺蔵「仏涅槃図」〔光秀の妻煕子の戒名か裏書に見つかる〕）につながったように、地域の歴史を再発見する機会となった。

伝・明智光秀公の陣太鼓　盛安寺蔵

【1-2-3】重要文化財「大津百艘船関係資料」指定記念企画展（第81回企画展）「江戸時代の琵琶湖水運－大津百艘船の航跡－」結果

1、会　期　令和2年2月29日（土）～4月12日（日）　［開館日数38日間］

2、会　場　大津市歴史博物館　企画展示室Ａ

3、主　催　大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞

4、後　援　ＮＨＫ大津放送局・ＢＢＣびわ湖放送・エフエム滋賀

5、観覧料　一般600円（480円）　高大生300円（240円）　小中生200円（160円）

6、展示作品　約150件

7、入館者数　1,325人（うち有料観覧者653人　無料観覧者672人）

◇有料観覧者数　内訳

個人　　一般：358人　高大生：38人　小中生：23人

団体割引一般：171人　高大生：11人　小中生：3人

市内（65歳以上）割引：89人　その他割引：7人

歴博カード会員：118人

※参考：3月969人、4月356人

8、関連講座　3月7日（土）大津百艘船と高札

講師：杉江進（大津市教育委員会文化財保護課）

3月28日（土）大津百艘船関係資料による琵琶湖舟運

講師：東幸代（滋賀県立大学人間文化学部教授）

3月14日（土）江戸時代の石山寺の即位

講師：高埜利彦（学習院大学名誉教授）

4月7日（土）江戸時代の石山寺と旅行者－紀行文と古文書にみる－

講師：青柳周一（滋賀大学経済学部教授）

4月14日（土）幕末における京都・大津間の物資流通

講師：樋爪修（元本館館長）

（いずれもコロナ対策のため中止）

9、図録販売数　136冊（会期中）　（各Ａ４版　64頁オールカラー　価格1,000円）

10、展覧会の成果と問題点

【内容面】

・明治末年刊行の『大津市志』以来、大津の歴史を語る上で利用されてきた大津百艘船資料が重要文化財に指定されたことを記念とした展覧会で、水運の歴史をそれら史料から紹介したはじめてのもの。琵琶湖水運の成立や展開、日常的な百艘仲間の活躍などに焦点をあてた。

・指定作業の中で見いだされた新たな史料や内容を紹介。関連する観音寺文書や湖上絵図もあわせて展示し、文書中心の展示の中で、ビジュアル資料を補足的に展示した。

【広報面】

・コロナ対策もあり、講座が中止になる中で、毎日Twitterにて展示資料紹介を行った。

【集客・販売面】

・コロナ禍の影響もあり、例年春展の入場者数の3～4分の1にとどまった。

【反省点と今後の課題】

・展示資料が古文書中心ということで、伝わりにくかった部分もある。

・展示した大津百艘船関係資料は、大津だけでなく、滋賀県全体の交通史・経済史上で重要な史料群であり、紹介できたのは一部にとどまる。今後、展示のみならず、目録や解読分を紀要やHPなどで公開し、様々な方々の利用に供したい。

11、アンケート結果（抄）　全体回答者数 157 人

◎大津市歴史博物館への来館回数

①初めて：46 人　②2～4 回：43 人　③5 回以上：30 人　④10 回以上：39 人

◎居住地

①大津市内：70 人　②滋賀県内(大津市外)：34 人　③京都府：23 人　④その他：39 人

◎年齢

①～10 代：3 人　②20 代：10 人　③30 代：6 人　④40 代：34 人　⑤50 代：20 人

⑥60 代：35 人　⑦70 代：41 人 ⑧80 代以上：7 人

◎展示内容の満足度について。

［内容］①大変満足：56 人　②満足：76 人　③普通：15 人　④不満：7 人　⑤大変不満：0 人

［説明］①大変満足：54 人　②満足：66 人　③普通：28 人　④不満：6 人　⑤大変不満：0 人

［文字］①大変満足：38 人　②満足：65 人　③普通：41 人　④不満：10 人　⑤大変不満：0 人

◎自由記入欄より感想・意見・要望の一部を内容ごとに分類して抄録（一部中略のある他は原文のまま）

〔ご意見ご要望〕※高評価は割愛

・難しかったですが昔の人もやはりきっちりと記録を後生に残され偉いと思いました。

大津市・60 代

・もっと画、絵、写真等が見たかった。　大津市 70 代

・字ばかりでもっと絵や写真で見せて欲しい！　大津市 40 代

・文書の比率が高すぎる。もっと図、絵、モノの展示を期待していました。大津市 50 代

・壁面の資料は出来たら平面のケースに入れてほしかった。ガラスから遠すぎて細かいところが見えにくい。京都府 60 代

・ボリュームがありすぎて頭に入りきらなかった。もう少しわかりやすくまとめて展示してほしい。奈良県 40 代

・難しすぎるので解説者又は機具（説明）があれば助かります。大津市 70 代

・ここまで文書が中心と思っておらず（もっと物流の話を想像していました）少し面食らいましたが、解説がきちんとしていましたので面白く見れました。文書が読めない人もいると思うので、文書のどこに注目すべきか文書に注を入れれば、もっと文書を展示する意味があるのではないかと思います。なにはともあれこのご時世に開館していただきありがとうございます。がんばってください。大阪府 40 代

【I-2-4】開館 30 周年記念企画展（第 82 回企画展）
「聖衆来迎寺と盛安寺－明智光秀ゆかりの下阪本の社寺－」結果

１、会　期　令和２年 10 月 10 日（土）～11 月 23 日（月・祝）　［開館日数 38 日間］

２、会　場　大津市歴史博物館　企画展示室Ａ・Ｂ

３、主　催　大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞

４、特別協力　聖衆来迎寺、盛安寺

５、協　力　文化庁、滋賀県立琵琶湖文化館
令和２年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業（文化資源活用事業費補助金）

６、後　援　朝日新聞大津総局、e-radio、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局

７、観覧料　一般.800 円（640 円）　高大生 400 円（320 円）　小中生 200 円（160 円）

８、展示作品　111 件（228 点）　うち、国宝３件、重文 20 件、県指定６件、市指定３件

９、入館者数　8,429 人（うち有料観覧者 6,519 人　無料観覧者 1,910 人）

◇有料内訳　個人　一般：6,519 人　高大生：151 人 小中生：90 人
団体割引一般：2,124 人　高大生：82 人　小中生：15 人
市内（65 歳以上）割引：807 人　歴博カード会員：346 人

10、関連講座

10 月 14 日（水）聖衆来迎寺と明智光秀　62 人
講師：和田光生（本館学芸員）

10 月 16 日（金）国宝「六道絵」の戦国時代－山上から坂本への霊域の移動－　中止
講師：山本聡美（早稲田大学教授）

10 月 22 日（木）聖衆来迎寺の仏画入門　中止
講師：百橋明穂（神戸大学名誉教授）

11 月 12 日（木）宝物にみる聖衆来迎寺と元応国清寺　49 人
講師：鯨井清隆（本館学芸員）

外国語による六道絵解説会

10 月 15 日（木）六道絵　英語解説会　11 人
講師：キャサリン・ルドビック（スタンフォード大学兼任教授）

10 月 18 日（日）六道絵　中国語解説会　１人
講師：王ギョク［王へん+玉］人（京都国立博物館アソシエイトフェロー）

10 月 23 日（金）六道絵　韓国語解説会　６人
講師：呉永三（京都女子大学講師）

11、図録販売数　『聖衆来迎寺と盛安寺－明智光秀ゆかりの下阪本の社寺－』
953 冊（会期中）　（Ａ４版変形　144 頁オールカラー　価格 1,200 円）
聖衆来迎寺蔵「国宝六道絵」４か国語解説パンフレット『六道絵の世界』
15,000 冊無料配布　（Ａ４横版　16 頁オールカラー）

12、展覧会の成果と問題点

【内容面】

・大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公、明智光秀にゆかりの下阪本地域に伝わる文化財を紹介。特にともに光秀と関係深い聖衆来迎寺と盛安寺の寺宝を展示した。

・普段は５館の博物館で保管している、聖衆来迎寺所蔵の国宝六道絵１５幅のすべてを地元の滋賀県で約 36 年ぶりに展示した。特に 15 幅すべてを、会期を分けず前期のみに集中して展示することで、一度に全てを観覧できるとして大変好評であった。
・文化庁より、令和 2 年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業として補助金交付をうけた。これにより、東京・京都・奈良の国立博物館や大阪市立美術館が所蔵・寄託する聖衆来迎寺関連の作品を多く出陳できた。
・キャプションは英語表記を加え、六道絵の解説では、2 階展望ロビーを利用して四か国語のパネル展示を行った。また、パネルを利用して、英語・中国語・韓国語の解説会を行った。
・両寺を事前に宝物の悉皆調査を行い（継続中)、新たに存在が知られたものや再確認できたものが多数あり、それを展示したため初公開作品が数多くあった。また、事前調査によって聖衆来迎寺所蔵の仏涅槃図の墨書銘に、明智光秀の妻、煕子の戒名を発見し、記者発表を行った。

【広報面】
・文化庁の助成金で、インバウンド対策として、英語のチラシと、六道絵の四か国語パンフレットを作製した。
・滋賀県を代表する観音像の１体、盛安寺の十一面観音立像のみを撮影可・ＳＮＳ掲載可にしたところ、多くの投稿がみられた。ただし、一部において撮影者と観覧者の間でのトラブル（場所やシャッター音に関する苦情）もみられた。

【集客・販売面】
・新型コロナ対策として、事前予約などの方法を検討したが、当日の人員整理によって対応することとした。休日で一部混雑する場面がみられたが、入場制限することなく会期を終えることができた。
・積極的な広報を行わなかったが、国宝六道絵が全て公開されることもあって、全国から多くの来館者があり、昨年秋の展覧会の 2 倍近い入館者数を数えた。図録もほぼ売り切れに近く、グッズ類も多く販売した。

【反省点と今後の課題】
・展示品が多く、導線や順番がわかりにくいところがあった。
・新型コロナ対策として、キャプションの文字数を 3 分の 2 に減らした（滞留時間の短縮）ため、一部にやや説明不足の文章があった。
・照明が暗く見えづらいという意見が今回も多くあった。

13、アンケート結果（抄）　全体回答者数 1125 人

◎大津市歴史博物館への来館回数
①初めて：476 人　②2～4 回：331 人　③5 回以上：121 人　④10 回以上：136 人

◎居住地
①大津市内：440 人　②滋賀県内(大津市外)：206 人　③京都府：143 人　④その他：330 人

◎年齢
①～10 代：8 人　②20 代：22 人　③30 代：44 人　④40 代：107 人　⑤50 代：215 人
⑥60 代：329 人　⑦70 代：311 人 ⑧80 代以上：64 人

◎展示内容の満足度について。
［内容］①大変満足：523 人　②満足：484 人　③普通：76 人　④不満：7 人　⑤大変不満：0 人
［説明］①大変満足：425 人　②満足：491 人　③普通：140 人　④不満：17 人⑤大変不満：1 人
［文字］①大変満足：357 人　②満足：484 人　③普通：180 人　④不満：41 人⑤大変不満：2 人

◎自由記入欄より感想・意見・要望の一部を内容ごとに分類して抄録（一部中略のある他は原文のまま）

・日吉台在住ですが、近くにこんなにすごいお寺さんがあったこと外から見ているだけではわからないとおどろきました。このような近くの文化財を見る機会がもっとあるとよいのにと思い、京都にばかり目がむいていることも反省しました。大津市・70 代

・聖衆来迎寺は思ったよりも宝物が多く、以前参拝した時は、ここまでと思ってなかったので良かったと思います。大津に来て４年ですがまだまだ多くの企画楽しみにしています。大津の歴史がもっと知りたく思いました。大津市 70 代

・虫干の時は遠かったり、暗かったのでよく見えない事が多いが、今回は展示の仏様はよくみることができて感激した。六道絵の全幅展示は本当に快挙。一日中楽しめました。大阪府 50 代

・予想以上のすばらしい内容でした。近江の正倉院という表現も解りました。京都府 70 代

・聖衆来迎寺の仏像をみる機会に恵まれなかったのでよかった。絵画の解説が非常に丁寧で分かりやすかった。仏像の図録の説明もわかりやすく丁寧だった。貴博物館は説明を丁寧にしているのでおもしろい。大津市 80 代

・盛安寺仏については、普段お寺さんで拝観出来なかったご尊像まで今回拝観出来、幸運でした。大阪府 60 代

・説明文の親しみやすい感じに好感。大津市 50 代

・解説がどこの博物館よりもわかりやすくておもしろい。大津市 50 代

・盛安寺十一面観音像、はじめて拝観、夢のよう！ただ「人道不浄相図」だけはよく見てとれましたが、スポットライトのあて方がもう一工夫あればなおよし！暗くて見えにくかったです。大津市 70 代

・大津市歴史博物館の仏像展はハズレがなく、毎回充実した展示に満足しています。今回の仏像も充実でしたし、次回も楽しみにしています。甲賀市 40 代

・仏像の制作年代の特徴が説明されていて分かり易かった。六道絵の場面を番号と説明で示してあったのでよくわかった。説明文のキャッチコピーも分かり易くて良かった。その他 50 代

・六道絵がすばらしかった。解説文もていねいで。こんなにじっくりみたのは初めて！しかも国宝！！解説パンフレットもありがとうございました。東京都 50 代

・仏像を撮影出来るところが非常に良かった（驚きです）。守山市 60 代

・六道絵など英語、中国語などの解説が増えていてすばらしい。但しまだ一部にとどまっているので、今後を期待します。大津市 70 代

・毎回企画展を楽しみにしていますが、今回の企画も絶品でした。今回展示された両寺ともに、一度は訪れたいお寺として気にはなっていますが、観光寺院ではないため、通常拝観が難しいお寺です。それが今回この様な形で同時に拝観できるのは仏像好きにとして至福の時間でした。今度は滋賀県に伝わる十一面観音で企画を組んでいただけると嬉しいです。京都府 30 代

・思った以上に仏像の展示があり、とても充実した内容でした。実際の寺院にもいつか行ってみたいと思います。家から遠いので行くのを迷っていましたが来てよかったです。福岡県 40 代

・六道絵の解説本をありがとうございます。会場外のパネル展示も良かったです。神奈川県 60 代

・前期もきましたが、後期も見どころ沢山でたのしかったです。千葉県 20 代

・展示室全体もっと明るくして欲しい。大津市 60 代

・説明の部分にルビをふってほしい。歴史上の漢字や画法・技法や名称など。大津市 70 代

・老人は早く疲れるので、第一室ないし、第二室にもベンチを置いて下さると助かります。大津市 70 代

【I-2-5】　普及事業（れきはく講座）の実施状況（令和2年4月～令和3年3月）

	開催日	曜日	回数	シリーズ名など	タイトル	講　　師	応募者数	当選者	**参加者**
1	4月4日	土	771	企画展「江戸時代の琵琶湖水運」関連講座	江戸時代の石山寺と旅行者ー紀行文と古文書にみるー	青柳周一（滋賀大学経済学部教授）	156	中止	中止
2	4月11日	土	772	企画展「江戸時代の琵琶湖水運」関連講座	幕末における京都・大津間の物資流通	樋爪修（元大津市歴史博物館館長）	176	中止	中止
3	5月9日	土	773	古文書入門講座（3回連続講座）	大津の古文書に挑戦！①	髙橋大樹（本館学芸員）	122	中止	中止
4	5月16日	土	774	古文書入門講座（3回連続講座）	大津の古文書に挑戦！②	髙橋大樹（本館学芸員）	117	中止	中止
5	5月17日	日	775	トークイベント	TOKYO 1964 ～大津に聖火がやってきた～	出演：聖火ランナーの方々、 司会：木津勝（本館副館長）	申込不要	中止	中止
6	5月23日	土	776	古文書入門講座（3回連続講座）	大津の古文書に挑戦！③	髙橋大樹（本館学芸員）	119	中止	中止
7	9月18日	金	777	開館30周年記念学芸員リレー講座	吉田初三郎画『京津電車御案内』を絵解きする	木津勝（本館副館長）	86	50	38
8	9月25日	金	778	開館30周年記念学芸員リレー講座	大津百艘船資料を紐解く	髙橋大樹（本館学芸員）	104	50	38
9	10月14日	水	779	企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」関連講座（学芸員リレー講座）	聖衆来迎寺と明智光秀	和田光生（本館学芸員）	188	50	62
10	10月16日	金		企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」関連講座	国宝「六道絵」の戦国時代 ―山上から坂本への霊威の移動」	山本聡美（早稲田大学教授）	中止 募集前	中止	中止
11	10月22日	木		企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」関連講座	聖衆来迎寺の仏画入門	百橋明穂（神戸大学名誉教授）	中止 募集前	中止	中止
12	11月12日	木	780	企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」関連講座（学芸員リレー講座）	宝物にみる聖衆来迎寺と元応国清寺	鯨井清隆（本館学芸員）	189	70	49
13	11月26日	木	781	ミニ企画展「明智光秀と坂本城」関連講座（学芸員リレー講座）	発掘された坂本城	福庭万里子（本館学芸員）	185	70	52
14	2月19日	金	782	ミニ企画展「降魔大師縁起絵巻」関連講座（学芸員リレー講座）	元三大師信仰の諸相	寺島典人（本館学芸員）	131	70	58
15	3月13日	土	783	企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」関連講座	芭蕉　伊賀時代からの旅立ち	岡本栄（伊賀市長）	181	92	77

16	3月18日	木	784	企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」関連講座	歴史資料から読み解く義仲寺	高橋大樹（本館学芸員）	207	207	160
17	3月20日	土	785	企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」関連講座	【現地見学会】義仲寺と竜が丘俳人墓地	横谷賢一郎（本館学芸員）	119	20	27
18	3月30日	火	786	企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」関連講座	芭蕉翁絵詞伝　絵師と作品	福田道宏（広島女学院大学教授）	206	85	69
						計	2,286	764	630

対前年度　−10回
※中止を除くと−14回

対前年度参加者比　−1705

［参考］2019年4月～2020年3月は28回（うち中止6回）
参加者は2,002人

【新型コロナウイルスの影響による開催状況の変更について】
◆2020年4～5月の講座は告知・募集していたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止とした。なお、4月18日～5月末までは臨時休館となり、6月以降に開館した後も、講座等のイベント中止は継続した。

◆2020年9月以降、下記の予防対策を講じたうえで、講座を再開した。
・会場（歴史博物館講堂）の座席について前後左右の間隔を確保するために、1回の定員を50名とした（従来は定員100名）。
・開講時間前後の館内と駐車場の混雑緩和のため、土日の開催をとりやめ、平日15時～16時(60分間)の開講とした（従来は基本的に土日14時～15時30分）。
・館内は空調設備により外気をとりこみ常時換気をしているが、さらに必要に応じて会場のドアや窓の開放等をおこない換気をおこなった。
・受付および講師演台に、飛沫感染防止用のアクリルボードを設置した。
・来場者へ次のように要望した。
①ご来場の際には、必ずマスクをご着用ください。
②事前にご自身の体調に十分ご留意いただき、体調がご不安な方はご来場をお控えください。また、以下に該当する場合は、ご来場をお断りいたします。
体調不良の諸症状がある方（37.5度以上の発熱、咳・咽頭痛、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、またその他の体調不良）、来場者ご本人や身近な方に新型コロナ
ウイルス感染症の疑いがある方、過去14日以内に、新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触がある方。
③当日、講座会場受付にて体温測定をおこない(非接触型の体温計使用)、37.5度以上の発熱がある方はご入場をお断りします。
④手洗い、手指の消毒、咳エチケット、他の方との間隔の確保等、感染防止対策にご協力ください。
⑤講座会場内（講堂）やロビーなどでは、お客様同士の間で一定の距離をとり、会話はできるだけお控えください。
⑥厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触確認アプリ（ＣＯＣＯＡ）や、滋賀県が実施する「もしサポ滋賀」もあわせてご活用ください。
◆また、国や県市が示すイベント定員制限の緩和にともない、定員（および当選者数）については順次変更している。

【I-2-6】夏休み子ども向けイベントの結果

大津市歴史博物館・成安造形大学共同企画 2020　おうちでワークショップ「ワクワク大津絵スゴロク」

［開催の経緯］

歴史博物館では、平成 14 年（2002 年）から毎年、小学校の夏休み時期に合わせて、「夏休みおもちゃづくりワークショップ」を開催している。これは、成安造形大学の協力を得た博学連携事業で、美術領域を専門とする大学生とともに、歴史文化をテーマとした子ども向けワークショップをおこなうものである。大学生は大学のプログラム授業として参加し、ワークショップ内容の考案、準備、当日の指導などを担当する。これまでに延べ 500 人以上の学生が参加してきた。本事業は、市内の小学生が親子で初めて博物館を訪れるきっかけのひとつとなっており、令和元年度までに 5,630 人以上（延べ人数）の子どもたちが参加した。

令和元年度は、従来の内容をリニューアルし、小学生を中心に親子で歴史資料を楽しく学ぶきっかけとなることを目的として、体験コーナーを多数含む展覧会「昔のくらし展」を開催した。本展では、当館が実物資料の展示を担当し、学生は展示資料に関連した会場内体験コーナーの考案・制作を担当した。また、従来のワークショップは、本展覧会関連イベントとして実施した。

令和２年度についても昨年度と同様の内容・規模を想定して、学生と協力した展覧会及びワークショップを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から内容を大きく変更した。大学側担当教員と協議し、中止とするのではなく、子どもたちが家庭で楽しめるおもちゃキットを考案・制作し、各家庭への送付やホームページ公開をする方法で実施した。

［開催概要］

名称：大津市歴史博物館・成安造形大学共同企画 2020　おうちでワークショップ
「ワクワク大津絵スゴロク」

内容：大津絵をモチーフとしたスゴロクとスゴロクコマの制作キット。
スゴロクコマは、画用紙の型紙やペットボトルなどの身近な素材で、大津絵に登場する鬼・藤娘・外法を立体的なキャラクターとして作る。スゴロクには７枚のカードが付き、スゴロクで遊びながら、大津絵に親しむことができる。

応募方法:キット送付を希望の場合は､メールまたはハガキで博物館あてに申込(７月 31 日締切)。
応募者多数の場合は抽選。

対象：主に小学生

参加費：無料

［参加者数］

・当選キット送付数：459 世帯（応募総数：637 世帯）
※兄弟姉妹数人での申込もあったが、申込多数であったので１世帯につき１キットの送付とした。また、全てのキット内容（スゴロクシート、コマの型紙、大津絵かるたカード）を博物館ホームページでダウンロードできるようにし、落選者にはその案内を送付した。

［事業とその成果について］

〔準備過程〕

・今回は「おうちでできるワークショップ」として実施する上で、最初に方針として、①考案したおもちゃキットは博物館ホームページでダウンロードできるようにする、②400 部数程度は応募を受付、実際にキットを送付する、③ホームページに作り方の動画を掲載する、という３点を前提として進めた。

・おもちゃキットの内容案は、消しゴムハンコや型紙を使って大津絵を「描く」ことに重点を置いたものや、立体的な人形として様々にアレンジしながら「作る」ことに重点を置いたもの、すごろくやかるたなど制作側スタッフの準備量が多くなるが子どもたちが「遊ぶ」ことに重点を置いたものなど様々な案が学生から出た。最終的に、大津絵キャラクターのコマを作り、それを使ってスゴロクで遊ぶことができるキットとして、複数の案を集約した形となった。また、学生による準備作業は、すごろくシートの制作班、コマのキット制作班、大津絵かるたカード制作班、作り方動画制作班に分かれておこなった。休校により授業開始時期が１カ月ほど遅れたことやオンライン授業が主体となったことで、大学生が苦労した点が多かったと思われるが、様々な案を出して作業に取り組んでいた。

〔広報〕

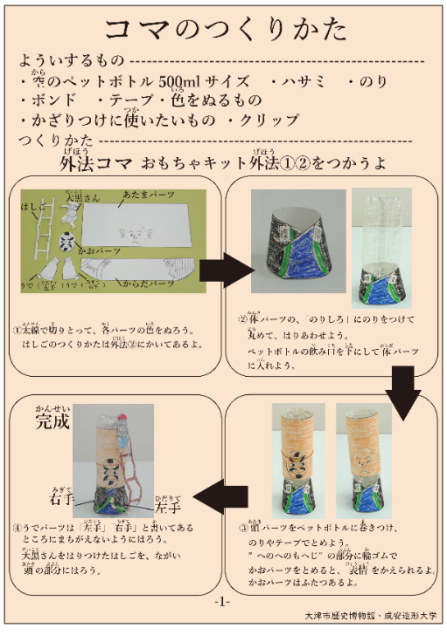
・例年どおり、当館ホームページとツイッター、広報おおつへの掲載、大津市内の小学校全児童へのチラシ配布で告知した。例年と異なる取り組み内容であったが、小学校全児童へのチラシ配布により、よく周知することができた。

〔反響〕

・今回は送付・ダウンロード形式としたことで、参加者の声がわかりにくい状況であったので、完成したおもちゃの写真と感想を添えて当館にメールをもらえるよう募集したところ、約 30 通の投稿があり、投稿者には、オリジナル大津絵イラスト缶バッジ（学生制作）と大学生からのコメントカードを返送した。
・すごろくの文面やキットの細かい改善点についての指摘もあったが、子どもが大津絵に触れる機会になったことやおもちゃづくりの楽しさについてなど、内容は好評であった。

◆ホームページ公開内容　https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/event/workshop/2020.html

・すごろく型紙３種類（鬼・藤娘・外法）
・すごろくコマのつくりかたシート
・すごろくばん
・大津絵かるた（７種類）
・作り方動画（導入１種類、作り方３種類、遊び方１種類）　※動画については現在削除済み



左上：すごろくシート
左下：大津絵かるたカード
右：すごろくコマつくりかたシート

【I-2-7】　市内小中学校等の博物館利用状況（令和２年４月～令和３年２月）

【常設展示団体観覧】　※市内小中学校の団体観覧は申請により常設展示観覧料を減免。

該当なし。　※前年度は、市内７校 406 名

【小学校への出張授業対応】

例年、市内小学校からの依頼に応じて学芸員が出向いて授業をおこなっている。今年度は、小学校３年生の単元「昔のくらし」に関連する内容のほか、小学校４年生、６年生についても新規の依頼があった。

また、新型コロナウイルスの影響により、生徒を連れて県内や市内の各博物館・施設に訪問できないという理由から、学校へ来訪して学芸員に講演してほしいという依頼もあった。

実施日時	学校名・学年	人数	内容
7 月 7 日(火) 8:45～12:10	膳所小学校・6 年生	118 名(4 クラス)	膳所城の成り立ち （総合的な学習の時間）
11 月 17 日(火) 13:55～15:30	志賀小学校・3 年生	96 名(3 クラス)	市のうつりかわり（社会科）
1 月 20 日(水) 10:15～11:30	大石小学校・3 年生	28 名(1 クラス)	昔のくらしを知ろう（社会科）
1 月 21 日(木) 10:45～15:00	晴嵐小学校・3 年生	147 人(5 クラス)	昔のくらしを知ろう（社会科）
1 月 26 日(火) 9:30～12:05	志賀小学校・4 年生	104 名(3 クラス)	受けつがれてきた行事と 先人のはたらき（社会科）
2 月 9 日(火) 13:55～15:30	志賀小学校・3 年生	96 名(3 クラス)	しがっ子探検隊　昔にタイムスリップ（総合的な学習の時間）
2 月 10 日(水) 8:40～12:00	平野小学校・3 年生	165 名(5 クラス)	昔のくらしを知ろう（社会科）
			合計　出講のべ 7 校

（参考）平成 30 年度：「昔のくらし」対応として 6 校（出講 5 校、来館 1 校）

平成 31 年度：「昔のくらし」対応として 4 校（出講 3 校、来館 1 校）

【職場体験受け入れ】

大津市内の中学校 2 年生がおこなう職場体験事業について、例年 7 校程度を受け入れており、新規に要望があれば随時受け入れていたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、市内一斉中止となった。なお、職場体験の代替として、令和 3 年 2 月 19 日に皇子山中学校の生徒 2 人が職場インタビューとして訪問した。

【I-2-8】広報・情報発信の状況

１．プレスリリース（広報課を通じての記者発表）

発表日	件名
2020 年 7 月 31 日	明智光秀の妻・煕子に関わる資料が発見されました！　※情報解禁日は 8 月 7 日 （聖衆来迎寺所蔵「仏涅槃図」裏面寄進銘についての記者発表）
8 月 7 日	「明智光秀と戦国時代の大津」パンフレット刊行・販売について
9 月 3 日	歴史博物館オリジナル「大津絵手拭いマスク」を新発売！
10 月 2 日	開館 30 周年記念企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」を開催します！ （報道関係者向けの展示説明会を開催）
2021 年 2 月 19 日	開館 30 周年記念企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」を開催します！

２．ホームページ・SNS 等の公開状況

◆ホームページ更新について

［ホームページアドレス：http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/］

企画展、特別展示の詳細や主な展示作品については、各トピックについて news 頁を作成して情報を公開し、ホームページ更新のお知らせや学芸員視点での資料紹介について Twitter を活用している。また、貸しギャラリーやその他の開館情報については、ホームページ・Twitter 双方で告知するようにしている。

◆Twitter の更新について

［アカウント名：otsu_rekihaku　　URL：http://www.twitter.com/otsu_rekihaku］

Twitter 利用状況（令和 3 年 3 月）　総ツイート数 665　フォロワー数 1,227（昨年は 662）

◆Twitter **での発信強化**

企画展「江戸時代の琵琶湖水運」（R2.2.29～4.12）では、休館することなく会期を終えたものの、コロナ禍の中で来場を控えたという声が多かったため、Twitter で 1 日 1 点、展示品紹介をおこなった。また、ミニ企画展「令和元年度新収蔵品展」については、休館により開催することができなかったため、これも日々ツイッターで写真と解説を添えて紹介した。これをきっかけに、受付係職員が主体となって、当館のみどころや収蔵品の紹介、開館 30 周年にちなんだクイズ、大河ドラマ「麒麟がくる」の関連展示の内容紹介など、シリーズ化して情報発信をおこなった。

・「江戸時代の琵琶湖水運」関連投稿 https://twitter.com/i/events/1238353454680043523
・「令和元年度新収蔵品展」関連投稿 https://twitter.com/i/events/1252861723284877314
・大津絵の紹介　https://twitter.com/otsu_rekihaku/status/1303133597675577345
・開館 30 周年クイズ！歴史編 https://twitter.com/otsu_rekihaku/status/1321285408412622853
・明智左馬之助湖水渡り伝説　https://twitter.com/otsu_rekihaku/status/1348131638979358721

【I-2-9】「遊ぼう！大津れきはく」ページの開設

令和２年２月以降、新型コロナウイルスの影響により、一般の方に博物館を利用してもらうことができない状況が続き、全国の博物館ではインターネット上で博物館の展示品や情報に触れることができる様々な取り組みがおこなわれた。特に、北海道博物館が主導した「おうちでたのしくまなべる　おうちミュージアム」では、多くの博物館・美術館が各家庭でダウンロードして楽しめる体験内容や映像を投稿しており、現在も続いている。

小中学校の休校により各家庭で楽しめるコンテンツが求められるなか、大津市歴史博物館オリジナル工作キットを制作し、ホームページで公開をはじめた。これは当館の受付係職員が主体となって考案・制作したもので、現在、ペーパークラフトや浮世絵ぬりえなどを公開している。また１月からは、大津絵をモチーフにした壁紙をつくり、各月ごとに新たに公開している。

・遊ぼう！大津れきはく　https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/event/asobou.html

ペーパークラフト　兜(かぶと)を作ってみよう！

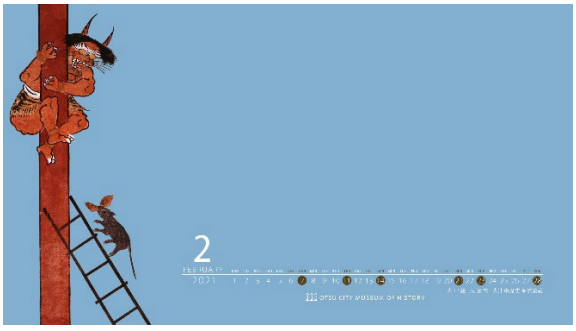
浮世絵ぬりえ　近江八景（矢橋帰帆）編

浮世絵ぬりえ　近江八景（瀬田夕照）編

浮世絵ぬりえ　街道編

・大津れきはくオリジナル 大津絵壁紙 2021

https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/news/otsue_wallpaper.html



また、今年度は成安造形大学との共同事業である夏休みおもちゃづくりワークショップについても博物館での開催は取りやめ、郵送方式で実施した。成安造形大学の学生がおもちゃキットを考案し、約 450 通を各家庭に届けることができたが、例年以上の申込があり落選者も多かったため、当館ホームページ上でも、おもちゃキットの内容や型紙、作り方の動画を公開した。

・ワクワク大津絵スゴロク https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/event/workshop/2020.html

【I-3-1】　講師・調査派遣等の状況

1　講師派遣（令和 2 年度）

5 月 21 日（木）	社会共生実習「オンラインミーティング」	龍谷大学社会学部
10 月 10 日（土）	講演『比叡山と坂本をめぐる歴史文化』について	守山市教育委員会
11 月 14 日（土）	社会共生実習「大津百町のまちあるき」	龍谷大学社会学部
11 月 14 日（土）	大津人実践講座「歴博学芸員と歩く歴史絵巻～雄琴城とその周辺を訪ねて～」	大津市教育委員会生涯学習課
11 月 16 日（月）	地域実践学入門 2（大津絵実践学のススメ モノが持つ力を知る）	成安造形大学
11 月 22 日（日）	講演「明智光秀と大津」	田上公民館
11 月 23 日(月祝)	講座「百間堤」	大物自治会文化委員会
11 月 27 日（金）	講座「江戸時代の琵琶湖水運」	米原市教育委員会
11 月 28 日（土）	講演会「山王祭を支えてきた人々～延暦寺・山門公人・周辺地域～」	神戸町教育委員会神戸山王まつり活性化委員会
12 月 17 日（木）	講座「膳所の寺院について」	膳所歴史サークル（膳所市民センター）
12 月 19 日（土）	歴史まちづくりフォーラム講演 「明智光秀と比叡山焼き討ち」	都市計画課
2 月 18 日（木）	講座「壬申の乱と大津に残る大友皇子の伝承について」	膳所歴史サークル（膳所市民センター）
2 月 25 日（木）	社会共生実習「オンラインミーティング」	龍谷大学社会学部
3 月 10 日（水）	歴史ウォーキング「雄琴城周辺」	真野北健康推進員グループ

2　調査派遣（令和２年度）

10 月 13 日	滋賀県立琵琶湖博物館寄贈資料の評価（滋賀県立琵琶湖博物館）
3 月 22 日～23 日	山口市内彫刻調査（山口市教育委員会）

3　委員等（令和２年度）

- 滋賀県博物館協議会 研修委員・広報委員（滋賀県博物館協議会）
- 近江学研究所 客員研究員（成安造形大学附属近江学研究所）
- 「大津百町百福物語」ブランド選考委員会委員(大津商工会議所)
- 清水寺史編纂委員会 委員
- 総本山知恩院史料編纂所 編纂員
- 大学共同利用機関法人　人間文化研究機構　総合地球環境研究所　共同研究員
- 滋賀県立陶芸の森陶芸館収蔵品価格評価委員
- 『近江八幡市史』編纂委員
- 『天台学大辞典』編纂委員（天台宗）
- 『西教寺の仏教美術』編纂委員（天台真盛宗総本山西教寺）
- 『園城寺の仏像』編纂委員（天台寺門宗総本山園城寺）
- 「滋賀の仏さま展（仮称）」企画委員（京都新聞）
- 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館調査員（彫刻）
- 収蔵品価格評価委員（滋賀県立陶芸の森陶芸館）
- きらッと大津景観広告賞及び大津市景観重要広告物選考委員（都市計画課）

【I-3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況（令和２年度）

○長浜市長浜城歴史博物館（滋賀県長浜市）

特別展「竹生島弁才天－仏から神へ、その信仰の展開－」

会期：令和２年１１月２８日～同３年１月17日

・日吉山王垂迹神曼荼羅図　１幅　本館蔵

○京都国立博物館（京都府京都市）

特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」

会期：令和３年３月２７日～同５月１６日

・慈威和尚像　１幅　西教寺蔵　ほか

○博物館資料の特別利用　　８７件

【参考】

重要文化財指定記念特別展示「金台院蔵「天台三祖師像」と天台の祖師」

当館に寄託されている「絹本著色天台三祖師像」（金台院蔵）が、令和２年３月 19 日に開催された文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに国の重要文化財に指定された。

本特別展示はそれを記念して開催したもの。伝教大師最澄によって開かれた比叡山延暦寺は、日本仏教の母山とも称され、数多くの祖師を輩出した。展示では、新たに重要文化財に指定された「天台三祖師像」とあわせ、当館に収蔵される天台宗の各祖師の肖像画を紹介した。

１、会　期　令和２年７月 14 日（火）～８月 10 日（月・祝）　［開館日数 25 日間］

２、会　場　大津市歴史博物館　企画展示室 B

３、主　催　大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館

４、観覧料　無料

５、展示作品　16 点

６、入館者数　962 人（７月 14 日から８月 10 日までの常設展示観覧者数）

展示風景

【1-3-3】　企画展示室の利用状況（令和2年4月～令和3年3月）

	利用期間	展覧会名	主催	観覧者数	利用展示室
1	4/8～4/12	第14回洋画合同作品展	油絵同好会合同会	105	B
2	8/27～8/30	第22回花寿会水墨画合同展	花寿会	220	B
3	9/16～9/22	第40回記念滋賀県書展	（公社）滋賀県書道協会	666	A・B
4	12/8～12/13	現代大津絵展	日本大津絵文化協会	497	B
5	12/15～12/20	大津市写真連盟合同写真展覧会	大津市写真連盟	290	B
6	12/16～12/20	第2回　ね年展	滋賀県書道協会ね年委員会	362	A
7	12/24～12/27	第55回記念　滋賀県硬筆作品展覧会	（公社）滋賀県書道協会	2,658	A・B
8	1/8～1/11	書道展	書道研究　雅友会	240	A・B
9	1/14～1/19	大津市小・中学校児童生徒書き初め展	教育委員会事務局学校教育課	1,641	A・B
10	1/20～1/27	大津市特別支援学級・養護学校作品展	教育委員会事務局学校教育課	2,028	A・B
11	1/28～2/2	大津の子ども総合美術展	教育委員会事務局学校教育課	1,328	A・B
12	2/4～2/7	毎日書道展滋賀書研展	滋賀書研	400	A・B
11	2/9～2/14	第60回　滋賀県書初め展	（公社）滋賀県書道協会	5,017	A・B
12	2/4～2/7	神田浩山書展　－時は過ぎ往く―	神田浩山書展実行委員会	753	B
12	3/13～3/14	令和2年度　滋賀県高等学校書道科教員作品展		149	B
13	3/26～3/28	第18回　滋賀県立膳所高等学校書道部書展　萌芽	膳所高校書道部	291	B
	計		13回	16,645	

対前年度　-18,179

参考　平成31年4月～令和2年2月　30回　総観覧者数　34,824

〔参考〕大津市歴史博物館の概要

Ⅰ．博物館の概要

・開館日：平成２年１０月２８日

・博物館法の分類：登録博物館（平成８年度より重要文化財公開承認施設）

・博物館の運営方針：当館は、大津の豊かな歴史と文化を調査研究し、その成果を常設展示や企画展をはじめとする様々な事業のなかで紹介し、地域への理解と愛着を深めていただくことを目的に博物館活動を重ねています。

２．主な活動

① 展示活動

ａ．常設展示「大津の歴史と文化」

南北に細長い地理的特質を持ち、各地域ごとに異なった歴史と文化を形成するという大津市の特徴から、地域に焦点を当てた６つのコーナーからなる「テーマ展示」と、大津市全域の歴史を年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成しています。

また、平成１１年度から常設展示内の１コーナーを「ミニ企画展」と名づけ、博物館の収蔵品や調査成果を踏まえて、２ヶ月程度を会期に年間７～８回、様々なテーマの小展示を行っています。

ｂ．企画展示

当館には企画展示室Ａ（約 500 ㎡）と企画展示室Ｂ（約 250 ㎡）があります。これらの展示室で年間３回程度の企画展を実施しています。

② 資料の調査収集、研究活動

市内を中心に、大津に関係する資料の調査を日常の博物館活動として実施しています。またこうした活動の中で、資料の収集を行い博物館収蔵品の充実と文化財の保護を行うとともに、レファレンス対応の基礎資料としています。

③ 普及活動

ａ．れきはく講座

開館当初より「土曜講座」や現地見学会「ふるさと大津歴史教室」を実施してきましたが、現在は「れきはく講座」という名称に統一し、年間３０回程度の講座を開催しています。

ｂ．夏休み子どもワークショップ

平成１４年度から、成安造形大学と共同で実施しています。

ｃ．れきはくカード

１年間有効の定期券で、常設展示、企画展示を観覧いただけるほか、れきはく講座や刊行物の割引等を受けられます。現在会員数４１１名（令和元年 11 月現在）。

④ その他

ａ．貸館（企画展示室の利用）

当館が企画展示室を使用していない期間に限り、同室をギャラリーとして利用できるようにしています。大津市美術展覧会や市内小中学校の絵画・書道の展示をはじめ、市民の芸術活動の発表の場としてご利用いただいています。

３．ここ５年間の主な活動

①利用者数の推移　(人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
常設展示観覧者数	24,819	18,947	17,592	21,408	19,661
企画展観覧者数	16,543	10,586	9,576	22,504	14,833
講座等参加者数	3,405	3,200	3,250	3,409	3,968
貸館観覧者数	42,591	38,828	43,225	35,095	34,824
館外展示観覧者数	―	―	877	―	―
総利用者数	**87,358**	**71,561**	**74,520**	**82,416**	**73,286**

②企画展の開催状況

平成２７年度　開館２５周年記念企画展「広重の旅　浮世絵・近江・街道」
開館２５周年記念企画展「比叡山－みほとけの山－」
開館２５周年記念企画展「大津歴博の玉手箱」

平成２８年度　「発掘された日本列島 2016」
「大津の浄土宗寺院　新知恩院と乗念寺」
志賀町・大津市合併 10 周年記念「村の古地図－志賀地域を歩く－」

平成２９年度　「田上てぬぐい－暮らしと文化－　」
《大津京遷都 1350 年記念》 企画展「大津の都と白鳳寺院」
本多氏入封 400 年記念企画展「膳所城と藩政―築城から幕末十一烈士事件まで―」

平成３０年度　大津市制 120 周年記念企画展「60 年前の大津」
湖信会設立 60 周年記念企画展「神仏のかたち　－湖都大津の仏像と神像－」
「フェノロサの愛した寺　法明院　-三井寺北院の名刹-」

令和　元年度　「大津南部の仏像－旧栗太郡の神仏－」
「大津絵－ヨーロッパの視点から－」
重要文化財「大津百艘船関係資料」指定記念「江戸時代の琵琶湖水運」

③企画展示室利用件数の推移

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
３７件	３７件	４０件	３３件	３４件 （うち４件中止）

大津市歴史博物館の基本的運営方針について

■「大津市歴史博物館基本的運営方針」策定の経過

大津市歴史博物館は平成２年１０月に開館しました。以来、資料調査及び常設展示・企画展示・れきはく講座・ホームページ等による歴史情報の発信等、さまざまな事業に取り組んできましたが、この間、博物館をとりまく社会状況の変化のなかで、あらためて今、博物館の存在意義が問われています。

そういった状況のもと、平成２３年１２月２０日付けで、文部科学省より「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示されました。同告示においては、博物館の設置目的を踏まえた基本的運営方針、年度ごとの事業計画の策定に努めることとされ、また、利用者及び地域住民、社会の要望への留意、学校、他の博物館等との緊密な連携、協力に努めるものとすること等が提示されました。

それに基づき、大津市歴史博物館では、あらためて平成２６年度から、「基本的運営方針」の原案作成に着手しました。原案作成にあたっては、附属機関である大津市歴史博物館協議会に原案を諮問し、２年間に渡る討議を経て、同協議会から出された答申をもとに、このたび「大津市歴史博物館が目指すもの」「大津市の歴史と文化の魅力とは」「基本的運営方針と活動目標」からなる基本的運営方針の原案を作成しました。この原案について、平成２９年２月１７日から３月８日の間に実施したパブリックコメント、大津市教育委員会定例会における議決を経て、策定いたしました。

なお、この基本的運営方針については、「大津市教育振興基本計画」の策定年度である平成３２年度から５年ごとを目途に、必要に応じて見直すこととしています。

■大津市歴史博物館の基本的運営方針（平成 29 年 3 月 23 日策定）

1、大津市歴史博物館が目指すもの

・豊かな歴史と文化をともに学び、ともに未来へ引き継ぐ

歴史博物館は、大津市の豊かな歴史と文化の素晴らしさを、そこに暮らす人々とともに学ぶことによって、郷土への愛着と誇りを育むとともに、多様でかつ地域性豊かな郷土の魅力を発信し、その担い手を育て、さらに未来へと引き継いでいきます。そして、人と人、人とモノとの出会いによって生みだされる学びの楽しさを、子どもたちをはじめとする幅広い世代の人々とともに分かち合える場となるような博物館を目指します。それとともに、誰もが暮らしてよかった、訪れてよかったと思えるような大津市のまちづくりにも寄与することを、歴史博物館の使命とします。

２、大津市の歴史と文化の魅力とは

(１) 琵琶湖と緑の山々の豊かな自然の恵みによって育まれた歴史と文化

大津市は、魅力にあふれた都市です。日本一広い琵琶湖が、目の前に広がっています。背後は、緑の山々に囲まれています。その豊かな自然の恵みにより、先人たちは、大津市ならではの歴史と文化を育んできました。大津京、渡来文化を示す遺跡、仏教文化の聖地、水陸交通の要所、大

津絵と近江八景、明治以降の近代化など。その魅力は多様で、またこれからも、さらなる調査によって、新たな魅力が発見されていくことでしょう。

(２) 個性あふれる地域によって生み出された多様な歴史と文化

大津市は、明治３１年（１８９８）の市制施行以来、度重なる合併により、市域が南北に細長いという地理的な特徴を持っています。山村部、湖辺や農村、また門前町・宿場町・港町・城下町といった都市部など、それらの多様な特徴を持つ地域に暮らす人々の営みによって、大津市には、個性豊かな歴史と文化が育まれてきました。

(３) 数多くの国宝・重要文化財が残される一方、未指定の埋もれた文化財が人知れず眠る、未知の可能性を秘めた歴史と文化

世界遺産を擁する大津市には、国宝・重要文化財といった国指定文化財が、京都市・奈良市に次いで３番目と、数多く残されています。また、未指定で、地域の人々によって守られてきた文化財も豊富です。それでもまだ、人知れず埋もれている文化財が、多く眠っています。大津市の歴史と文化は、未知の可能性を秘めた魅力にあふれています。

(４) 日本の各地域へ、さらに世界へと広がる歴史と文化

歴史をさかのぼると、中国大陸や朝鮮半島からの渡来文化、インドで発祥し、シルクロードを通じて我が国に伝えられた仏教、延暦寺・園城寺・西教寺・石山寺や日吉大社など日本の神仏信仰の中心的な位置にある多くの社寺、さらに、東西交通の要所といえる琵琶湖水運や東海道、北国海道、峠越えの道などの陸上交通。大津市の歴史と文化は、全国、さらに世界へと、無限の広がりを持っています。

３、基本的運営方針・活動目標

基本的運営方針　Ⅰ

地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る

大津市の歴史と文化の魅力でも触れたように、国指定文化財の豊かさとともに、市内の各地域には、地域性を持つ未指定の文化財が人知れず眠っています。また、日本の各地に、歴史的なつながりを示す文化財も数多く残されています。それらの文化財を守ってこられた地域の人々とともに調査し、その保存、活用について考えます。

◇活動目標(Ⅰ)　資料の調査収集・研究活動の推進

市内、市外を問わず、本市の歴史と文化の特徴に関わる資料を積極的に調査収集し研究する。調査に際しては、資料所蔵者（個人・団体を含む）への取材により、資料の伝来状況を記録し、資料の持つ歴史的意義について明らかにする。

（具体的事業案）

① **継続的な資料調査の実施**　調査対象資料は、絵画・彫刻・工芸・歴史・古文書・民俗・考古の各分野とする。また、分野を超えた複合的な調査・収集を、適宜実施することにより、資料に対する新たな価値を見い出す。

② **他機関等専門家との合同による資料調査**　文化庁、関係研究機関（大学・博物館など）との合同調査を積極的に実施し、資料の歴史的な意義を明らかにする。

③ **資料調査成果の発表と共有化**　資料調査の成果を『大津市歴史博物館研究紀要』等の学術雑誌や研究会において発表することにより、大津市の豊かな歴史と文化の共有化を図る。

◇活動目標(２)　調査によって得られた情報のデータ化と収蔵資料の充実

調査収集した資料の整理と目録化を行うとともに、当館で導入している「歴史博物館収蔵品データベース」に蓄積し、今後の活用可能な基礎データとする。

（具体的事業案）

① **調査資料の詳細なデータ化**　調査資料の整理にあたっては、調査で得られたあらゆる情報（聞き取り調査も含め）を「収蔵品データベース」等に蓄積し、資料がもつ情報を含めて次代に引き継ぐ。

② **収蔵資料の充実**　購入・受贈・受託などの方法による博物館収蔵資料の充実につとめ、展示、レファレンス等への活用を図る。

③ **収蔵資料保存に向けた施設の充実**　定期的な資料の燻蒸により、保存環境を良好に保つとともに、空調機器など設備の維持管理、改修につとめる。また、資料の収蔵スペースの確保についても検討する。

◇活動目標(３)　地域資料の保存、活用に向けた情報の共有化と学習支援の推進

資料調査の成果を所蔵者に還元し、資料保存に関する情報の共有化を進める。また資料をもとにした地域学習の要望に対して博物館も積極的に参加し、その活用方法などについて、ともに考える。

（具体的事業案）

① **資料保存についての情報の共有化**　博物館と地域で資料の保存環境に関する情報を共有化し、資料の劣化や散逸を防ぐ。

② **資料を活用した共同学習の推進**　資料を素材とした地域学習の要望に対し、博物館も積極的に参加し、その活用方法について、ともに考え、資料に盛り込まれた地域の特性についての共同学習を進める。

基本的運営方針　２

あらゆる世代、あらゆる地域に対し、歴史情報の共有化に向けた情報発信を行う

調査によって収集した、大津市の歴史と文化の魅力を、未来を担う子どもや若者をはじめとするあらゆる世代、市内外を含めたあらゆる地域の人々に伝え、そして歴史と文化の新たな担い手を育てるために、その共有化に向けた情報を発信していきます。また発信にあたっては、幅広いテーマによる企画展示の開催、歴史博物館や地域での体験も含めた講座の開催、蓄積したデータのインターネット等を通じた積極的な公開などを、親しみやすさに焦点を当てながら実施していきます。

◇活動目標(１)　常設展示の充実

資料の調査、研究によって得られた新たな情報を常設展示によって紹介し、常に新鮮な情報

を発信する。また、利用者のニーズを把握し、展示内容に反映させるとともに、将来の改修に向けた準備を行う。

（具体的事業案）

① **ミニ企画展・特別公開などの充実**　大津絵・近江八景など、大津市ならではの歴史と文化の魅力を示す資料を、ミニ企画展において定期的に公開していくとともに、資料調査によって得られた新発見資料のタイムリーな公開につとめる。

② **展示解説シートの作成と活用**　常設展示の内容や大津の歴史に関する理解をより深めるための解説シートを作成するとともに、事前学習にも利用できるように、ホームページ等で公開し、利用の促進を図る。また海外からの観光客誘致に向けて、多言語版解説シートを作成する。

③ **展示解説の充実**　現在運用中の音声ガイドの内容充実に加え、観覧者の展示内容に対する理解を深める様々な解説方法を模索する。

④ **常設展示の見直し**　観覧者アンケート等により、満足度・リピーター率等を把握するほか、意見の集約により、展示内容の充実を図るとともに、今後の展示改装に向けた基礎資料として活用する。

◇活動目標(２)　企画展示の充実

企画展示のテーマとして、国指定などを始めとする一級の文化財の鑑賞機会を提供するとともに、個性あふれる地域の魅力に焦点を当てた企画展、タイムリーなテーマによる企画展を開催し、大津市の歴史と文化の素晴らしさを広く発信する。

（具体的事業案）

① **指定文化財の公開**　日頃、目にすることの少ない指定文化財（国・県・市指定)の鑑賞機会を来館者に提供する。

② **資料調査の成果を盛り込んだ企画展の開催**　大津市の歴史と文化の特徴として挙げた、個性あふれる地域の魅力等を重視したテーマによる企画展を開催する。

③ **企画展示開催方法の検討**　企画展開催にあたっては、展示内容への理解を深めるため、れきはく講座と連動させるなど、多様な試みを模索する。また他の博物館や文化施設等と連携し、幅広い視点で地域の魅力を明らかにする。

④ **親しみやすい企画展**　利用者のニーズに応じたテーマでの企画を検討する。また、解説などについても分かりやすさ、親しみやすさを念頭においた工夫と見直しを常に行う。

◇活動目標(３)　子ども・若者に対する学習支援の推進

子ども･若者を、大津市の歴史と文化の魅力を未来へ引き継ぐ担い手として育てていくため、各年代層に応じた、学習に関する支援を積極的に進めていく。

（具体的事業案）

① **小中学生来館に対する学習支援**　学校団体観覧をはじめ、来館する児童･生徒に向けた、常設展示解説シート、ワークシートを新たに作成し、歴史と文化の普及を図るとともに、受入れの促進を図る。

② **小中学校への出張授業**　主に、小学校３年生の学習分野「昔の道具、昔の暮らしを学ぶ」、

６年生の社会科歴史分野に対応した出張授業を実施するとともに、学校現場での授業支援に向けた副教材を作成する。

③ **親子で学ぶ歴史講座の開催**　大津市全体や地域の歴史、また博物館資料や施設及び活動に関する講座を、体験型に力点を置きながら実施する。

④ **子ども・若者に対する多様な学習支援**　子ども・若者に対し、館内や地域での資料調査など、学芸員の仕事を実体験してもらうとともに、自発的な郷土学習に対する支援を行うことで、文化財の保存や伝承に対する意識の普及を図る。

◇活動目標(４)　幅広い世代に向けた積極的な情報発信

博物館が持っている資料や情報を、れきはく講座やホームページ等を通じて積極的に発信することにより、市民等の生涯学習に対するニーズに応える。

（具体的事業案）

① **れきはく講座の開催**　現在、毎週土曜日を基本として開催している、博物館講堂での講座と年４回程度の現地見学会を、今後も継続実施するとともに、参加者のニーズを把握し、講座内容の充実を図る。

② **公民館講座等への講師派遣**　地域の公民館、市民の歴史サークル、各種団体などで開催される講座に講師を派遣し、大津市の歴史と文化の普及を図る。

③ **れきはくホームページの充実**　博物館の案内や展示の紹介以外に、大津の歴史と文化を示す資料のデータを高精細画像によって提供し、歴史博物館を訪れることなく、自宅でも、より詳細な資料の検索を可能とする。

④ **報道機関への情報提供**　企画展、ミニ企画展を始め、調査による新発見資料等を随時記者発表し、博物館活動の内容を幅広く広報する。

基本的運営方針　３

大津市の歴史と文化の普及に携わるさまざまな組織の活動と連携し、支援体制を築き、歴史情報のセンターとしての役割を担う

「大津市総合計画」「教育振興基本計画」に基づき、大津市の歴史と文化の魅力をさらに広く発信するために、学校教育、社会教育の諸活動、都市計画、観光に関わる諸事業、市民ボランティアやまちづくりを目指す大学や各種団体、企業、歴史的に関係の深い文化施設および自治体などと連携し、博物館事業を進めます。そして、大津市の魅力を、人々が共有し、暮らしに活かせるような歴史と文化のあらゆる情報に応えるセンターとしての役割を担います。

◇活動目標(１)　大津市各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携

大津市の各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携を図りながら、本市の歴史情報発信の核としての役割を果たす。

（具体的事業案）

① **大津市教育委員会、市長部局各課との連携**　文化財保護課、生涯学習課、市立図書館、都市計画や観光等の諸計画と連携を図り、本市行政における大津の歴史と文化推進事業

の核としての役割を果たす。

② **市内大学、文化施設等との連携**　平成 14 年度から開催している成安造形大学との連携による「夏休み子どもワークショップ」、同 24 年から実施している県立びわ湖ホールでのラ・フォル・ジュルネ事業との連携等により、大津の歴史と文化の魅力を、市民等と共有する取り組みを行う。

◇活動目標(２)　歴史と文化情報のセンターとしての役割を担う

歴史博物館で調査収集した資料を幅広く提供するとともに、博物館展示室を広くギャラリーとして活用に供するなど、歴史と文化の普及に関するセンターとしての役割を担う。

（具体的事業案）

① **他の博物館等展覧会に係る収蔵資料の貸し出し**　他の博物館、各種団体等が開催する展覧会に対し、博物館所蔵資料等の貸し出しを行うことで、本市の歴史と文化普及の核としての役割を果たす。

② **博物館資料の幅広い活用**　博物館所蔵資料等を、地域の文化活動や福祉活動、書籍の出版や個人の調査、研究などに幅広く提供し、その活用を推進する。

③ **レファレンス対応**　市民や報道機関などから、メール、電話、手紙、来館などによる問い合わせへの対応。

④ **企画展示室の活用**　企画展示室を大津市美術展や教育委員会主催事業の会場として提供するほか、広く市民ギャラリーとしても貸し出し、文化的活動への活用を図る。